

トマス・ムア

#### 4 小さな男と小さな魂

バラッド

「小さな男が小さな娘に求婚した」の曲にのせて

チャールズ・アボット氏に捧ぐ

—どちらのアルカディア人も

ともに唄に長けていた—

小さな男がいた 彼は小さな魂をもっていた

「小さな魂よ 試そう 試そう 試そうではないか  
できる範囲で

ちょっとした演説をつくれるかどうか

小さなお前と小さなわしと わしと わしとで

5

小さなお前と小さなわしとで」

すると小さな魂が

小さな穴からのぞきながら言った

「申し上げます 小さな男様 ご立派 ご立派 ご立派です  
もし不躰でないなら教えてください

10

—体ぜんたい

我々の小さな 小さな演説で何を 何を 何を話すのですか

我々の小さな 小さな演説で何を話すのですか」

小さな男は大きく見えた

頭にのせた <sup>かつら</sup>髪のおかげ

15

彼は小さな魂に命じた 静粛に 静粛に 静粛に

しまいには魂はトマス・クロッグガンのように

牢獄へ入れられるのではと恐ろしくなった

(公爵でも伯爵でもないから) 褒美に 牢へ 牢へと

公爵でも伯爵でもないから褒美に牢へと

20

小さな男はこう言った

「小さな魂よ これは冗談ではないぞ

ジャッキー・フラワーが酒を 酒を 酒を愛するのと同じくらい確かに

わしは王子と国民に語るつもりだ  
教会と尖塔について思うところを  
そしてそれを支える 支える 支える我が小さな特許付きの案を  
そして我が小さな特許付きの案を」

25

そうして二人は肩を並べて出発した  
小さな男と小さな魂は  
二人の小さな演説をきっちり きっちり きっちり行った  
世間では皆が口々に言う  
このお高くとまった小さな二人組は  
生涯これほど小さく 小さく 小さく見えることはなかったと  
生涯これほど小さく見えることはなかったと

30

(三木菜緒美訳)